

研究実施責任者	プロジェクト名	期間	配分額(円)
看護学部・准教授 藤代 知美	メンタルヘルスの課題を抱える人と支援者の つながりの構築	R3-R4	959,200
研究概要			
<p>本研究は、メンタルヘルスの課題を抱える人が、精神保健医療福祉をはじめとする専門職や、地域の支援とつながりを構築するために必要な支援体制・支援方法を構築することを目標とし、精神保健医療福祉をはじめとする専門職とメンタルヘルス上の課題を抱える人、さらには地域住民、社会資源や情報や場がどのようにつながりを構築しているのか、ということについて明らかにすることを目的とする。そのために、メンタルヘルスの課題を抱える当事者と、課題を抱える人がつながりを持つことを支援した経験のある専門職それぞれ7～8名を対象とし、半構造化面接を実施する。</p>			
研究成果			
<p>【研究の背景】</p> <p>精神疾患は、早期に治療を開始し、未治療期間を短くすることが予後を改善する上で最も重要であるが（水野，2019）、統合失調症をはじめとする精神疾患を抱える人は、知識不足やスティグマなどによって受診行動が阻害される（埴ら，2012；児玉ら，2017）。受診の遅れは暴力などの問題行動を生み、患者の意思に反する入院の可能性を高める。本人や家族の同意が得られない医療保護入院の患者数は20年前に比べ約4万人増加しており（厚生労働省，2022）、本人の意思に基づいた治療を受けられるようにするための支援方法の構築は、喫緊の課題であると考えられる。一方、精神医療につながることによって自らのスティグマをより助長してしまうことが指摘されており（小椋，2016）、精神への受診にとらわれない支援方法を構築することが課題である。</p> <p>平成30年、地域共生社会の実現を目指す「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」が開始された（厚生労働省，2021）。地域共生社会においては、人と人、人と社会のつながりのある地域づくりが重要である。保健師が精神疾患をもつ人や家族と信頼関係を構築し、治療や入院につなぐ体制を整えていることが明らかにされているが（松本ら，2018；蔭山ら，2012）、当事者と支援者、双方の視点から、メンタルヘルス上の課題を抱える人と、専門職、地域住民、資源や情報、場がつながりを構築する全容を明らかにした研究はない。</p> <p>【研究目的と研究目標】</p> <p>研究目的：精神保健医療福祉をはじめとする専門職とメンタルヘルス上の課題を抱える人、さらには地域住民、社会資源や情報や場が、どのようにつながりを構築し、かつどのようにつながりを拡大しているのか、ということ明らかにすることを目的とした。</p>			

研究目標 1 : メンタルヘルスの課題を抱える人の精神保健医療福祉をはじめとする専門職の支援や、地域住民による支援とつながりの構築を明らかにする

研究目標 2 : 精神保健医療福祉の専門職が、メンタルヘルスの課題を抱える人が精神保健医療福祉をはじめとする専門職の支援や、地域住民による支援とつながりを構築し、さらにつながりを拡大するまでの支援について明らかにする

【研究方法】

① データ収集方法

「つながり」の概念分析を行い、インタビューガイドを作成して下記の研究協力者に対して半構造化インタビューを実施した。

研究目標 1 : 現在精神状態が安定しており、健康問題を抱えてから支援につながり、精神的健康や自分らしさを回復するまでのことについて語るができる人

研究目標 2 : メンタルヘルスの課題を抱える人がつながりを構築することを支援した経験のある精神保健医療福祉の専門職

② 分析方法

逐語録を精読し、つながりの構築を示すデータを一つのまとまりとして切り取り、コード名をつけた。研究協力者ごとにすべてのコードの類似性と相違性に着目してカテゴリー化した。次に、当事者、支援者ごとに個別カテゴリーを集めて、カテゴリー化を繰り返した。分析においては、研究者間で意見が一致するまで繰り返し、信頼性を確保した。

③ 倫理的配慮

研究協力施設ならびに研究協力者に、研究の目的、意義、方法、研究協力の自由意思の尊重、研究協力の撤回の自由、プライバシーの保護、心身の負担などへの配慮などについて、文書を用いて口頭で説明した。当事者である研究対象者にインタビューを行う際は、インタビュー中の疲れについては注意深く観察し、心身の負担の軽減に努めた。本研究は、高知県立大学倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号看研倫 21-41）。

【論文発表】

- ・ 藤代知美, 高橋真紀子, 塩見理香, 稲垣佳代 : メンタルヘルス支援において求められる「つながり」の概念分析 (査読中)
- ・ 藤代知美, 塩見理香, 高橋真紀子, 稲垣佳代 : メンタルヘルスの課題を抱える人と支援者のつながりの構築 (執筆中)